

令和6年8月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和6年8月19日（月）午後1時
(2) 閉 会 令和6年8月19日（月）午後2時55分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
第 2 会議録の承認について
第 3 会議の公開・非公開の決定について
第 4 協議事項 8 三木市における学校部活動に関する地域クラブ活動への移行ガイドライン（案）の策定について
第 5 協議事項 9 吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る教育委員会の方向性について
第 6 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
第 7 報告事項 みき歴史資料館協議会委員の委嘱について
第 8 報告事項 各課（室）の所管事項について
第 9 その他
第10 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	大 北 由 美
委 員	石 井 ひろ美
委 員	中 嶋 直 裕
委 員	梶 正 義
委 員	稲 見 秀 行

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	森 田 眞 規
教 育 振 興 部 長	鍋 島 健 一

教育総務課長	田中	栄一
教育施設課長	荒田	知宏
生涯学習課長	河端	康
図書館長	伊藤	真紀
文化・スポーツ課長	手島	三知子
学校教育課長	山口	正明
教育センター所長	計倉	康和
小中一貫教育推進室長	武内	克朗
教育・保育課長	仲谷	淳
文化・スポーツ課主幹	福本	和也
教育総務課課長補佐	本岡	忠明
教育総務課係長	三觜	牧恵

7 傍聴者 なし

開 会

教育長が、令和6年8月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、石井委員及び中嶋委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、令和6年7月定例会（7月19日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の公開・非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、協議事項8「三木市における学校部活動に関する地域クラブ活動への移行ガイドライン（案）の

策定について」及び協議事項9「吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る教育委員会の方向性について」は意思形成過程にあるもので、公にすることにより不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあることから、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開で審議することについて同意された。

日程第6 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について

○手島文化・スポーツ課長が次のように説明した。

三木市教育委員会顕彰規則第4条の規定に基づき、三木市教育委員会被顕彰者を決定したので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条第2項第4号の規定により報告する。

令和4年7月に上垣貴世子さんから、上田桑鳩作品28点を御寄附いただいた。当時は感謝状の贈呈基準に達していないとの判断であったが、市制施行70周年を記念し寄附を受けた作品の展示を検討した際に、貴重な作品であることが判明したため、9月7日の上田桑鳩展特別講演会で感謝状を贈呈する。本来であれば寄附を受けてすぐに鑑定し、報告するところ、遅くなったことをお詫び申し上げます。

日程第7 報告事項 みき歴史資料館協議会委員の委嘱について

○手島文化・スポーツ課長が次のように説明した。

三木市立歴史資料館条例第6条の規定に基づき、三木歴史資料館協議会委員を委嘱したので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条第2項第5号の規定により報告する。委嘱理由は任期満了のため、委嘱期間は令和6年8月1日から令和8年7月31日までである。

日程第8 報告事項 各課（室）の所管事項について

(1) 教育施設課報告事項

○荒田教育施設課長が次のように報告した。

給食調理業務委託業者選定委員会を8月1日に開催し、プロポーザル方式で選定する委託業者の書類審査や企画提案の評価など委託業者を選定する審査内容について確認した。プロポーザルは11月下旬に実施予定である。

三木市子どもの移動経路安全対策推進会議を8月29日に開催する。同会議は、小中学校の通学路及び未就学の移動経路の安全確保に向けた取組を行うため、国や県の道路管理者、三木警察署、学校園、市の生活安全課、道路河川課などの関係機関と連携して設置しており、本年度は危険箇所27か所について、関係機関と安全対策を協議・検討し、危険箇所の解消に努めたいと考えている。

(2) 生涯学習課報告事項

○河端生涯学習課長が次のように報告した。

みっきいシニアカレッジ（三木市高齢者大学）令和6年度意見発表会を7月25日にまなびの郷みずほで開催した。7人が1人8分以内で発表し、102人が参加した。

令和6年度子ども会ともだちキャンプを8月2日から4日まで三木ホースランドパークエオの森研修センターで開催し、市内の小学4年生から中学3年生までの20人が参加した。

サマースクール「デイキャンプ」を8月22日に三木ホースランドパークエオの森研修センターで開催する。関西国際大学の学生を講師に、緑が丘中学校区の志染小学校、緑が丘小学校及び緑が丘東小学校の4年生から6年生までの児童を対象に、地域間交流を促していく。

(3) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

一日図書館員を8月6日に青山図書館、7日に吉川図書館、8日に中央図書館で実施した。今回の中央図書館の参加者は、小学校4年生が2人、5年生が3人の計5人で、本や図書館が好きであるなど、図書館の仕事に意欲的な元気な子どもたちであった。通っている学校は別々であったが、昼食や慣れない作業を協力して行うことで、図書館の仕事体験以上の経験となった。終了時には今回初めて、それぞれが活動している様子を写真に収めた職員手作りの図書館員認定証を手交し、参加者は満足そうであった。今後も、毎年開催している事業であっても、中身を充実させながら子どもたちと図書館をつなぐ事業を展開していく。

製本・図書修理教室を全8回開催する。本講座は毎年大変人気があり、受講後は図書館や学校など、地域で技術を生かせる内容であ

る。

ただ本を借りるだけではなく、市民の生き生きとしたライフワークの一助となる図書館でありたいと考えている。

(4) 文化・スポーツ課報告事項

○手島文化・スポーツ課長が次のように報告した。

第4回アート・ティーン公募展を8月3日から18日まで堀光美術館で開催し、会期中の来館者は702人、18日に開催した表彰式は35人、8月3日、4日、10日及び11日に開催した陶芸教室「埴輪を作ろう！」の参加者は45人であった。

中学生の陸上競技で全国大会に出場する選手5人の激励会を8月15日に三木市スポーツ振興基金が開催した。

特別企画展「上田桑鳩展～上田家・飛雲会・上垣家寄贈作品～」を8月30日から9月29日まで堀光美術館で開催する。

(5) 学校教育課報告事項

○山口学校教育課長が次のように報告した。

学力育成三木モデル事業の一環として、三木市の全教職員を対象に未来を創る学力育成講演会を8月5日に文化会館で開催した。国のGIGAスクール構想にも参画している平井総一郎氏が「NEXT・GIGAの学びのデザイン」をテーマに講演した。全教職員対象研修を実施したことにより、これからの教育や学校の在り方について意見を共有したり、考えるきっかけをつくったりすることができ、「GIGAスクール構想の本質」について捉え直す機会となった。参加した教職員からは、「これから子どもたちが生きていく社会のイメージがより具体的になった。その上で、授業を変えていくことや学校ができることを具体的に考えていく必要があると思った」、「三木市全体の教員が、2学期の授業改革に向けて皆で一步を進めていくことを感じた。親も教師も、自分たちの経験を語れないほど変化しているこの時代の流れの中で、今、私たち教師ができることを進めていきたい」等の意見や感想が多く出され、アンケート集計結果についても講演内容の満足度が高かった。

夏季教職員人権教育研修会を8月7日に三木南交流センターで開催し、参加者は229人であった。

第2回未来を創る学力育成プロジェクト会議を9月10日に開催

する。全国学力・学習状況調査の結果を参考に、2学期以降の学力育成の取組について協議する。

(梶委員) 未来を創る学力育成講演会の資料を見せていただくことは可能か。

(山口学校教育課長) 著作権の問題がない資料については提供可能である。また、研修に参加できなかった教職員を対象に研修動画を撮影しており、動画を視聴していただくことも可能である。

(6) 教育センター報告事項

○計倉教育センター所長が次のように報告した。

教育相談は、1学期が終了する時期ということもあり、担任しているクラスの児童の様子についての教員からの相談が非常に多かった。

専門研修講座「子どもたちのための教育フォーラム～子どもが行きたくなる学校とは～」を8月16日に教育センターで開催し、参加者は教職員、区長、学校運営協議会委員、PTA役員及び保護者の計54人であった。講師の新井肇氏の「不登校の理解と支援の方向性」についての講演及び市内小中高校生のインタビュー動画を視聴した後、「児童生徒はどのような学校であれば来るのか、子どもたちが行きたくなる魅力ある学校とは」について、それぞれの立場ごとにグループ討議を行った。各グループから出された意見を集約した結果、「つながり」というキーワードにたどり着いた。

教師、児童生徒及び児童生徒同士並びに年齢交流、地域及び保護者との交流等を通して、さまざまな人とのつながりを重視した学校にしていくことが、子どもたちにとって魅力ある学校になるのではないかとの提言がなされた。

青少年センターの事業について説明する。ネット見守り隊報告を7月29日に実施したが、特に問題はなかった。

三木市青少年補導委員会管外研修会を8月1日に播磨社会復帰促進センターで開催し、参加者は17人であった。全国でも珍しい一部民間委託している施設で、民間事業者のノウハウを活用し、地域に密着した施設運営を見学した。

(石井委員) 先日、フォーラムに参加し、大変勉強になった。不登校等の問題では、生徒「指導」から「支援」に変わってきていることは理解していたが、今回の講演を聴き、どのような寄り添い方をしていくのかといった深いところまで理解できたように思う。また、今回の研修のように、さまざまな立場のかたが同じ方向を向いて子どもたちのために何かを考えるとすることは非常に重要であるため、このような研修が増えたらよいと感じた。

(中嶋委員) 先日のフォーラムに途中まで参加し、動画や子どもたちのインタビューを視聴した。「子どもたちが行きたくなる学校」のキーワードが「つながり」に集約されたことは、大変感慨深い。

(7) 小中一貫教育推進室報告事項

○武内小中一貫教育推進室長が次のように報告した。

第5回吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る地域協議会を8月9日に吉川町公民館で開催した。初めに、第4回教職員部会の開催状況や学校用地選定に係る考え方について説明した。用地選定の考え方については、委員から出された学校用地に求められる要件及び事務局による先進市町の事例研究に基づき、より詳細な考え方を示したものを提案した。考え方の主な項目は、「安全性」、「土地」、「通学及びアクセス」、「開校までの期間」並びに「工事の影響」などである。その後、意見交換を行い、用地選定に関する考え方について共通理解を図った。次回の地域協議会では、今回の用地選定の考え方を踏まえ、検討すべき複数の用地に当てはめながらそれぞれの場所に関する状況整理を行う予定である。

先進校視察を8月20日に寝屋川市立望が丘小学校・中学校、8月22日に豊中市立庄内さくら学園で実施する。両校とも直近に建設された施設一体型小中一貫校であるため、最近の特徴的な施設設備の在り方や学校運営の詳細について情報を収集する。

(8) 教育・保育課報告事項

○仲谷教育・保育課長が次のように報告した。

就学前教育と小学校の教育の連携についての研修会として、保育者研修（実践交流会）を7月22日に、保育者合同研修（兼教育センター専門研修講座）を8月1日にそれぞれ教育センターで実施し

た。保育者合同研修については、就学前の保育教諭と小学校の教員が1つの班を組み、テーマについて話し合う機会を設けた。参加者からは、「小学校・就学前のそれぞれの立場の意見が聞け、よかった」、「機会がなかったため、今回さまざまな話ができよかった」等の意見が出され、おおむね好評であった。今後、このような研修を増やしていく。

保育者及びアフタースクール支援員研修（人権研修会）を8月31日に教育センターで実施する。不適切な保育や指導に関するニュース等が増えている中で、保育者とアフタースクールの支援員との合同で人権・人格を尊重した教育・保育を振り返る研修を行う。

日程第9 その他 なし

日程第10 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催について諮り、令和6年9月20日午後2時から開催することを決定した。

（非公開）

日程第4 協議事項8 三木市における学校部活動に関する地域クラブ活動への移行ガイドライン（案）の策定について

日程第5 協議事項9 吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る教育委員会の方向性について

協議事項8及び9は、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により非公開で審議したため、同規則第31条の規定により内容については記載しない。

閉 会

教育長が、令和6年8月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。

【令和6年8月三木市教育委員会定例会会議録】

教育長

署名委員

署名委員

記録者
